予備調査事業計画書

（書式Ａ1）

**赤文字部分を各々の事業に合わせて変更して下さい**

株式会社○○構造設計事務所

代表取締役　耐震　二郎

一級　北海道知事登録（石）第000号

１．一般事項

（１）この事業計画書は○○ビル予備調査に適用する。

（２）本事業の実施に当たってはこの事業計画書に従う。

２．建築物概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (１) | 建築物名称 | ○○ビル |
| (２) | 所　在　地 | 札幌市中央区北１条西２丁目１番地 |
| (３) | 用　　途 | 店舗 |
| (４) | 棟　　数 | １棟 |
| (５) | 確認年月日 | 昭和00年00月00日 |
| (６) | 構造種別 | ＲＣ造 |
| (７) | 規　　模 | 地上10階　地下２階　塔屋２階 |
| (８) | 延べ面積 | 10,000.00㎡ |
| (９) | 構造特記事項 | なし |

３．予備調査実施者に関する情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (１) | 予備調査実施者 | 耐震　三郎 |
| (２) | 資　　格 | 一級建築士　建設大臣登録第000号 |
| (３) | 登録資格者講習の種類 | ＲＣ造 |
| (４) | 登録資格者講習修了番号 | RC000 |
| (５) | 登録資格者講習修了年月日 | 平成25年00月00日 |
| (６) | 札幌市予備調査員登録番号 | 第000号　※予備調査員でなければ空欄 |

４．事業の内容

（１）設計図書の調査

別に定める設計図書調査票（書式４－Ｂ）により、設計図面等に記載されている事項について調査し記載する。

・設計図書調査票は構造上の棟ごとに作成

・調査した設計図書が新築時の建築確認申請時か以降の増築時の図書かの別を明示・記載要領に従い、もれなく記載する

・関係図書の調査にあたって、関係図書の不足等が判明したときは、委託者、受託者双方の協議により適切に処理する

（２）現地調査

別に定める予備調査報告書の書式（書式４－Ａ）に従って、使用履歴、外観目視等により調査を行う。

・現地調査写真を添付する

・現地調査は委託者の立会いの下で実施する

・使用履歴、被災履歴、不具合等に関する事柄については委託者からの聞き取りにより実施する

・現地調査にあたっては、巻尺、クラックスケール、双眼鏡、カメラ、その他調査に必要な機器を準備する

（３）予備調査報告書の作成

設計図書及び現地調査をもとに予備調査報告書（書式４－Ａ）を作成する。

・構造上の棟が複数ある場合には、予備調査報告書のＣ欄以降の項目については棟ごとに作成する

（４）耐震診断概算費用に係る見積書の作成

予備調査報告書で示した耐震診断費用の概算見積書を作成する。

・報告書に示した、調査・試験費用についても作成する

（５）（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部による予備調査報告書の精査・確認

予備調査報告書を委託者へ提出する前に、（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部による精査及び確認を受け、精査・確認報告書の交付を受ける。

（６）調査結果等の説明

予備調査報告書の提出時には、その概要について委託者に説明する。

５．事業の期間

契約書に示す委託契約締結の日から事業完了日までとする。

６．成果品

本事業の成果品は次のうち以下に○の付いたものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| ○ | 予備調査報告書（書式４－Ａ）（現地調査の写真含む） |
| ○ | 設計図書調査票（書式４－Ｂ） |
| ○ | 予備調査精査・確認報告（（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部から交付を受けたもの） |
| ○ | 耐震診断概算見積書 |
|  | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |